（別紙４）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援教室　ゆるゆる			
○保護者評価実施期間	2026年　1月　5日	～	2026年　1月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○従業者評価実施期間	2025年　12月　20日	～	2026年　1月　20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○訪問先施設評価実施期間	2026年　1月　5日	～	2026年　月　日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	6	（回答数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との連携をスムーズにとれていることで、家庭でも連続した支援を行うことが出来ている。	・保育所等との連携の内容については、保護者とすぐに共有していくことで集団の中での取り組みや家庭での取り組みが連続していくことが出来るように支援を実施している。	・家庭での取り組みの内容や状況の変化などがある際には、電話での連携や訪問の回数や頻度について調整を行うようにし、適切な支援を実施してきたい。
2	・個別での療育であるために児の特性を理解したうえで集団生活の中で取り入れていく内容について提案することが出来る。	・集団の中での状況を情報収集していくことで個別での療育の内容に反映させていくことが出来ている。 ・療育の中で児の特性に合った支援を実施し、成功している内容について集団の中で取り入れやすい形を提案することが出来ている。	・神経発達症の支援や科学的な内容などについても根拠をもって支援を行うことが出来るように新しい情報や研修への参加などについても継続して実施していきたい。
3	・多職種のスタッフがいることで多面的な意見をスタッフからもらうことでより支援の選択肢を提案することが出来る。	・看護師、理学療法士、保育士など多職種のスタッフがいるために多方面からの意見をもらい支援の方法や方向性について提案することが出来ている。 ・利用者の状況に合わせて適宜会議などを実施している。	・訪問の中で必要な支援については多職種での支援を実施が出来るように調整を実施していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別療育であるために集団での活動が把握することが難しい面がある。	・個別療育であるが、必要に応じて数人の小集団を実施することを計画して実施している。また集団に入っている利用者については、集団の中の様子を保護者、保育所等から十分に訪問や聞き取りにて実施していくようにしている。	・小集団を実施するうえでの人員や利用者のグループの配置などについては工夫する必要がある。
2			
3			

（別紙５）

公表　保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援教室　ゆるゆる

公表日　2026年　2月　26日

利用児童数 6　回収数 6

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			2		必要に応じて資料や個別支援計画などを利用しながら支援を実施している。今後は保護者にも資料の配布や説明も同時に実施していくようにしていきたい。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					事業開始前に目的や頻度などについては保護者と一緒に相談の上決定している。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	6					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					療育の中で児の特性に合わせた支援や成功した内容を集団の中で取り入れられる形になるように提案している。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6					保育所等のスタッフから状況を確認したうえで計画や支援の内容について一緒に検討している。療育の中で必要な内容を実施できるよう計画している。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					契約時に必ず説明を実施している。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6					必要な家族に対しては、家族支援を実施している。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6					訪問前後に訪問で検討してほしいことや困っていることなどを聞き取りしてから訪問に望むようにしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					療育に来所する際に集団での状況や自宅での様子をふまえてその都度対応している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					保育所等訪問支援が必要と思われる対象の児には説明を行い、実施を行っている。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6					訪問終了したのちに保護者に必ずフィードバックするようにしている。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5			1		園行事や見てほしい内容などに応じて対応できるように日程調整している。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6					訪問に行く際には事前に利用児にも説明を行ってから行くようにしている。
	28	事業所の支援に満足していますか。	6					

（別紙６）

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名
児童発達支援教室　ゆるゆる

公表日　2026年　2月　26日

利用児童数 6　回収数5

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		・集団生活において無理のない範囲での助言を頂き、保育に取り入れさせて頂いています。 ・療育先でどのように歩行器を使用し関わりや支援を行っているのかを教えてもらえた。 ・事業所での活動内容についてはあまり聞けておらず本児の困り感等についての話が中心になっているので活動に対しての助言もいただけるともう少し取り入れやすいのかと思う。	・集団生活の中での取り入れやすい具体例などを提案することが出来るように療育内容などについても集団を見据えた形で実施していく必要がある。 ・療育内容については、集団での状況に合わせて必要な内容を個別で実施し、保育所等にフィードバックしていけるように支援内容の伝達にも時間を取るように工夫していきたい。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			・個別支援、技術を教えて下さり、保育に実践させて頂いています。 ・支援を必要とする子どもにとって、どのような援助をするべきなのか、相談に乗ってくださり助言を頂いたりすることができ、園でも実践することができた。	・療育の中での実践で取り入れられるところを取り入れていただいたことで集団生活の中でも児が取り組みやすい仕組みを作っていただくことが出来ていた。 ・保育所等のスタッフとの関係性を作ることでより良い支援に繋がることが出来ている。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5			・質問に丁寧に対応してくださり、共通理解して保育できています。・園で実際に子どもと関わる様子や環境を見て頂き、療育先ではどのように支援しているのかを助言を頂いた。	・訪問以外でも電話や訪問を他の支援員と行うことで連携を取ることで共通した支援を実施することが出来た。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2		・言葉で言えず手が出たり噛んだりするので今後減ると良いと思います。・課題が軽減しているため、今後も話と共通理解をしていきたいです。・園と療育で連携を図ることで必要な援助を考えることができた。不安に思っていたことも安心して実践してみようと思うことができた。 ・解消とまではいえないが、共通認識をしたうえで対応できるのは良いと感じている。	・解決に至っていない内容についても家族へ関わり方を共有したり、スタッフ間にて会議を行い、支援方法について園に伝えたりすることで訪問以外の時間にも多職種にて連携を実施した。 ・療育内にて試みて実施出来た内容を集団の中で取り入れてくださることで困りごとの解決につながった。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			・支援、ご指導をして頂いて、より良い集団生活が築けています。ありがとうございます。 ・定期的に子どもの情報共有を行い連続性のある支援が療育と園で行うことができると感じた。	・訪問を実施していくことで保育所等との共通理解や連続した支援に繋がっていくことが出来ている。 ・集団の中での課題を知ることで利用者の個別に必要な療育を実施することが出来た。

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・先生と色々共通理解を行い、良い援助が出来るようにサポートしていきたいと思います。 ・療育での取り組みと園での取り組みどちらも子どもの成長につながっていることを毎回感じられる良い機会になっております。今後ともよろしくお願いいたします。 ・毎回訪問があることで本児に対しての共通理解を行うことができている。保護者支援も必要な家庭なので、その面も合わせて話ができてありがたい。今後は事業所での活動内容についても話をし、新たな気づきにつなげていけたらと思う。	・集団生活の中における姿を見ることで新たな課題への気付きや保育所等の先生からの情報により、より良い支援や連続性のある支援に繋がっていると感じており、今後も連携を取ることで集団の中で楽しく過ごしていけるように支援を行っていきたいと考えている。

（別紙７）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援教室　ゆるゆる

公表日　2026年　2月　26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・必要と思われる利用児に対しては、保育所等での現状に合わせた内容にて資料の作成を行っている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			現在の件数では問題ないが、訪問件数が増えた際には訪問支援員などの配置について検討していく必要がある。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		運営会議の中で話し合いを持っている。	次年度の計画の中で訪問の日程調整などをしやすいように計画を実施する予定
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修には機会に合わせて業務を調整し、参加するように配慮されている。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者や保育所等から十分に聞き取りを行ったり、療育でのアセスメントをもとに訪問支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	○		療育に関わるスタッフからの意見ももらいながら計画を立てるようにしている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		集団生活の中での困りごとを聞き取りながら訪問での目的や支援を実施できるように保育所等と連携を取っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			アセスメントの方法や内容については、今後も児に合わせた形での評価が出来るように今後も継続して実施していく必要がある。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援の方向性などについては、必ずスタッフ間にて話し合いを実施してから訪問に行くようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		訪問内容を共有して必ず気づいた点を振り返りを行い、直接支援・間接支援を行うようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		保育所等の理念に応じて支援を実施していくようにスタッフとのコミュニケーションを取るようにしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			今年度開始のためにこれから小学部との連携を図っていけるように勧めていきたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			事業所内でのペアトレについては必要な保護者に実施しているが、全例ではないために保護者の希望を聞きながら他の研修の機会などの情報提供なども随時実施していきたい。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者への交流会や行事を通して保護者同士が交流したりする機会を持つように支援を行っている。行事の際にはきょうだいの参加も促し交流している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		適宜相談に乗れるように電話などにて対応できるように支援を実施している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		保護者に訪問後には直接面談にて状況や今後の方向性について説明を行うようにしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			相談に応じて対応していることで信頼関係を築いていくことが出来ているために相談に適切に対応できるように今後も継続していきたい
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			